

令和 6 年度第 3 回茅ヶ崎市文化財保護審議会 会議録

議題	議題 1 令和 6 年度文化財パトロールについて（報告） 議題 2 市指定史跡・天然記念物「鶴嶺八幡宮参道及び松並木」について（報告及び審議） 議題 3 史跡下寺尾官衙遺跡群・下寺尾西方遺跡について（報告） 議題 4 鶴嶺八幡宮横参道整備事業について（審議）
日時	令 7 年 1 月 2 4 日（金） 1 4 時 0 0 分から 1 6 時 3 0 分まで
場所	茅ヶ崎市役所分庁舎 5 階特別会議室及び鶴嶺八幡宮横参道
出席者氏名	（出席委員） 近藤会長、相澤委員、五味委員、緒方委員、田尾委員、宮瀧委員、鈴木委員 （事務局） 【教育推進部】松岡部長【社会教育課】伊勢田社会教育課長、石井課長補佐、大元主査、塘主任、鈴木主任、田中主任
会議資料	議題 1 令和 6 年度文化財パトロールについて（報告）【資料 1】 議題 2 市指定史跡・天然記念物「鶴嶺八幡宮参道及び松並木」について（報告及び審議）【資料 2－1～6】 議題 3 史跡下寺尾官衙遺跡群・下寺尾西方遺跡について（報告）【資料 3】 議題 4 鶴嶺八幡宮横参道整備事業について（審議）【資料 4】
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	1 人

会議録

- （伊勢田社会教育課長）
 - ・開会のあいさつ
 - ・出欠委員の確認（過半数の成立）
 - ・傍聴者の確認

- （事務局）
 - ・会議資料の確認

【議題 1 令和 6 年度文化財パトロールについて（報告）】

- （事務局）
 - 資料 1 について説明
- （近藤会長）

「文化財パトロール」という呼称は慣例ですか。

○（事務局）

以前から「文化財パトロール」という通称で通年行っています。

○（田尾委員）

看板が3件ほど、剥離したり、破損したり、脚が曲がったりとありますが、看板としては古いものになりますか。また、剥離等の原因は何でしょうか。

○（事務局）

堤貝塚の看板は、10年ほど前に、茅ヶ崎丸ごとふるさと発見博物館の事業で建てたものがほとんどです。

十二天古墳のものは、10年以上前から現地に設置していたものと思われます。

堤貝塚と十二天古墳の看板が倒れた原因は、脚が木製で腐食によって折れたことによります。

大久保遺跡群の看板が剥離した原因は、ステンレスのボードに薄いビニールのようなシートを張った解説看板の、そのビニールが雨や風などで剥がれたものと思われます。

久保山貝塚の看板の脚の変形については、おそらく車か何かがぶつかって曲がったものと思われますが、事故に関する通報等は特になく、詳細については不明です。

○（近藤会長）

看板の復旧はどうなりますか。

○（事務局）

現在、全く同じように看板を復旧する予算がないので、まずは現地の案内ができるように、アクリル板や大久保遺跡群のスチール製の看板に、日光に強いシールのようなものを貼り付けるような形で仮看板を作成して、なるべく今年度中に現地に設置しようと考えています。

○（田尾委員）

あちこちの自治体で困っていることの一つに、看板の経年劣化で文字が見えなくなることがあります。設置場所等によりますが、特に直射日光が当たるところは、図面の色が落ちたり、字自体が見えなくなったりします。

文化財のあちこちを確認されていると思いますが、このような経年劣化の状況は把握していますか。

○（事務局）

文字がかすれて読めないものは油性ペンで文字をなぞって見えるように応急処置をしています。

○（伊勢田社会教育課長）

看板の経年劣化については、文化財パトロールや市民からの通報を受けて対応しています。

会長のご意見にもありましたが、看板を設置したからよいということではなく、絶え間ない見直しが必要だと思います。文字が見えるか見えないかだけではなく、その内容が適正かということも含めて、今後のパトロールで確認したいと思います。

○（田尾委員）

震災関連遺構のパトロールとは、どのような内容ですか。

○（事務局）

現在、神奈川県は県内における震災関連遺構の集成を行っており、茅ヶ崎市にも照会がありました。それに伴い、市内の震災関連遺構、例えばその記録した石碑とか、当時落ちてしまった橋の一部が神社などに保管されているので、その状況を確認するために終日パトロールをしていました。

○（田尾委員）

所在調査みたいなものでしょうか。対象は災害伝承碑とか、観音像などです。以前、旧相模川橋脚を指定した時に調査したことがありました。

今回、県が震災関連遺構を集成していることとは別に、奈良文化財研究所の遺跡調査報告書では災害震災、特に地震の痕跡等を確認しているようですが、関連があるのでしょうか。

○（事務局）

奈良文化財研究所との関わりは不明ですが、県では震災関連遺構を県内の地図に落として、市

民、県民が地図上で見られるような情報を公開する準備を進めているということでした。

○（近藤会長）

多方面に市内の文化財の持つ意味を知らしめるということで、よろしくお願いします。

【議題2 市指定史跡・天然記念物「鶴嶺八幡宮参道及び松並木」について（報告及び審議）】

○（事務局）

資料2-1～5について説明

○（近藤会長）

緒方委員に確認していただいていますか。

○（事務局）

車止めポールの上に損傷が認められましたので、事前に相談していません。

○（近藤会長）

そういう事情であれば分かります。現状変更を認めるかどうかということですが、その前提としては自然系への影響はないということですね。

○（事務局）

そのとおりです。

○（田尾委員）

既存のインターロッキング、車止めポールの再設置ですから、それを復旧する際に史跡に触れるような掘削がなく、かつ専門職員が立ち会うということであればよいと思います。

○（近藤会長）

現状変更をやむなしということで理解しました。よろしくお願いします。

○（事務局）

資料2-6について説明

○（近藤会長）

進めていただく際に会長の了解を取るということは承知していますが、前提として、まずは自然系の委員の判断に従って進めるのが基本要件であると理解してください。

緒方委員にお願いしたいのは、ストップをかける条件があればそれは何かということを明確に指導していただければと思います。

○（緒方委員）

この時も1回現地を見て剪定の話もしました。事務局は行政職員ですから異動があると思いますが、どうやって剪定をしていき松並木を維持していくのかということを、後任の方に伝えていただけたらよいと思います。

○（事務局）

今年度追加で剪定する木については、決まり次第緒方委員にご協力いただければと思います。どうぞよろしくお願いします。

【議題3 史跡下寺尾官衙遺跡群・下寺尾西方遺跡について（報告）】

○（事務局）

資料3について説明

○（近藤会長）

現地説明会から始まって県の動きまで整理していただきました。

○（宮瀧委員）

前回の文化財保護審議会での私の質問に対してご回答くださりありがとうございました。

令和7年度の市の予定は承りましたが、その長期的な保存活用の見通し、予定を市民の目の前に出して、どれぐらい先に、どんなことを実現していくのかというイメージを持ってもらわないといけません。

10年前に国指定史跡になった段階で、史跡公園として活用してもらえるということで土地の提供

をしてくださった方もいるわけです。そういう地元の皆さんも代替わりが進んできて、当初は賛同されていた方も、そのお嬢さん息子さんたちの間では、実現しないじゃないか、駐車場にでもすればよかったといった声があるわけです。そういう声を私や田尾委員は市民の皆さんのイベントで聞いています。

そういう人たちの今後のことに対する様々な不安などを解消するために、7年度8年度だけではなく、この段階で史跡公園化するなど、予定でも結構ですから長期的なタイムスケジュールをお出しになって、それをもとに県の方も説得する必要があると思います。

県の方も10ヶ所候補地を探して見つからず、現在も探していると言っていますが、北陵高校の仮設校舎の教育環境も年々悪化しています。文化財保護と、北陵高校生の学習環境劣化という二つの問題が進行しています。

茅ヶ崎市は、先ほどの回答を伺った上で何か要望されるのでしょうか。それから、令和8年度以降の保存活用のタイムスケジュールはどの時点で発表されるのでしょうか。

○（事務局）

保存活用計画について、予定では令和8年度中に策定したいと思っています。その先については、官衙遺跡群と西方遺跡の二つの計画ができ、二つの重なる遺跡の考え方についても整理されると思っています。それを踏まえて整備基本計画の策定、その後に基本設計、実施設計し、整備に着手していくという流れになると考えています。

具体的なスケジュール案については、今後詰めながら皆様にお示しできるように進めていきたいと思っています。

○（伊勢田社会教育課長）

茅ヶ崎市から県に何か伝えているかということですが、令和5年の9月議会で市民の方から陳情が出されました。北陵高校の市内への移転が採択されて県に意見書が出されたことに関連して、茅ヶ崎市民の意見であるということを市から県に伝えているところです。

○（五味委員）

活用計画はかなり議論し尽くされているので、早く仕上げれば次の段階に進むと思います。いつまでもグズグズしていると、その後の史跡公園などの方向にもいきません。できるだけ早く、細かいことに議論を集中せず、文化庁とよく相談しながら、スピード感を持って進めていった方がよいと思います。

○（宮瀧委員）

台地上の北陵高校校庭は先送りしてでも、下の相模線の寺院跡は整備して先行公開できるのではないかと田尾委員から前回お話がありましたが、できることの選択肢は色々あると思います。その辺を具体的に検討して、地元の皆さんに、どんどん進んでいる、協力しなくてはと提供いただけるような、今までの立場を是非支援するような、一貫して堅持するようなことをしていただきたいと思っています。

それと、今回川崎、横須賀と3月9日に記念事業を実施しますが、もう明らかに差がついています。川崎は復元倉庫まで建てて公園化が進んでいます。同じ県内の川崎と茅ヶ崎市、どうして差がついたのかということは、これまでの十年間を謙虚に省みる必要があると思います。

私たち文化財保護審議会も後押しをしてこなかったのかもしれませんが、担当課だけが責任をとるべきことではないとも思います。

先ほど五味先生からご提案いただきましたが、今後何ができるのかということそれぞれ考えて進めていかないと、当初の方針や合意が風化してしまうと思います。今日の審議会で丁寧なご回答をいただいたことは大変ありがたいと思います。ここでまた膠着状況を継続するのではなく、一歩ずつ進んでいきたいと思っています。私たちも何かできることを探してやりたいと思っています。

○（田尾委員）

短期的には、凍結されている北陵高校部分が難しいのであれば、寺院部分や一部取得している弥生の部分もありますので、そういうところを仮整備でもいいので、目に見える形で活用していくのが大事かと思っています。とにかく目に見えないと本当に忘れられてしまうので、その辺を十分考えて

いただきたいです。

中長期的には、川崎がそうだったのですが、担当課だけでなく全庁で協議をしたり、支えたりします。そういう関連部署あるいは庁内ネットワークをもう少し広げてもらって、それで史跡整備に取り組まないと、いいものがないと思います。

将来的にはいろんな活用、例えばまちづくり、特に小出を中心としたまちづくりとか、もしかすると少しは観光もできるかもしれません。これは別ですが、市の海岸南部の藤間家なども道の駅と関連づけながら、大いに活用していけばよいと思います。

それと同じように、そのようなところを見越して他の部局などと連携し、課の中に留まらず少し視野を広げていただければと思います。

○（五味委員）

この前、発掘現場を見に行きましたが、かなり多くの人が見に来たとおっしゃっていました。市民の方の興味関心は非常に深いと思いますので、是非イベントみたいなものをやってもよいと思います。

北陵高校の西には富士山がありますのでダイヤモンド富士とか、夜に星を見る会とか、この頃俳句が流行りですから歌会をすとか、にぎわいを持たせることが関心を深くすることになると思います。色々なところと協力しながらやっていただくとよいと思いますので、是非考えてください

○（近藤会長）

それでは我々の総意で、にぎやかに、ということで、是非お願いいたします。

【議題４ 鶴嶺八幡宮横参道整備事業について（審議）】

○（事務局）

資料４について説明

その後、現地に移動して状況を確認

追加する指定範囲及び事業の必要性について意見を交換

【その他】

○（事務局）

令和７年度会議開催予定について、近日中に連絡することを説明

○（近藤会長）

以上で、私がお預かりした案件が終わりました。確認したい点、聞き漏らした点がありますでしょうか。それでは戻しますので、よろしくお願いします。

○（伊勢田社会教育課長）

ありがとうございます。御審議どうもありがとうございました。

以上をもちまして、令和６年度第３回茅ヶ崎市文化財保護審議会を閉会します。